

氏名	浦上知子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 3227 号
学位授与の日付	平成18年6月30日
学位授与の要件	医学研究科内科系小児科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	Clinical Significance of Decreased Serum Concentration of Cartilage Oligomeric Matrix Protein in Systemic Juvenile Idiopathic Arthritis (全身型若年性特発性関節炎で認められた血清Cartilage Oligomeric Matrix Protein濃度低下の臨床的意義)
論文審査委員	教授 尾崎敏文 教授 榎野博史 助教授 西田圭一郎

学位論文内容の要旨

血清 Cartilage Oligomeric Matrix Protein (COMP) 濃度は初期の変形性関節症や関節リウマチの症例で上昇しており、軟骨代謝のマーカーであると考えられている。我々は、血清 COMP 濃度が若年性特発性関節炎 (JIA) において関節炎や成長障害の臨床的に有用なマーカーとなりうるかについて調査するために、成長障害を認めない健常児 82 人と、関節炎症状を認める JIA 24 人 (少関節型 6 人、多関節型 10 人、全身型 8 人) の血清 COMP 濃度を測定した。健常児では、16 歳未満の年齢群の血清 COMP 濃度は 16 歳以上に比較して有意に上昇しており、健常児において血清 COMP 濃度は成長期の軟骨代謝亢進を反映していると考えられた。一方、JIA の血清 COMP 濃度と血清 CRP 濃度の間に有意な負の相関が認められ、さらに全身型 JIA の血清 COMP 濃度は健常児に比較して有意に低下していた。この結果から、全身型 JIA で生じた全身炎症が成長にとって重要な役割を担う軟骨代謝に影響を及ぼしていることが考えられた。したがって血清 COMP 濃度は全身型 JIA における成長障害を示す指標となりうることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は、軟骨代謝のマーカーと考えられている血清 Cartilage Oligomeric Matrix Protein (COMP) 濃度を、若年性特発性関節炎 (JIA) 24 人 (少関節型 6 人、多関節型 10 人、全身型 8 人) の血清で測定し、健常児 82 人の測定結果と比較している。健常児では、16 歳未満の年齢群の血清 COMP 濃度は、16 歳以上に比較して有意に上昇しており、健常児において血清 COMP 濃度は成長期の軟骨代謝亢進を反映していると考えられた。JIA の血清 COMP 濃度と血清 CRP 濃度の間には有意な負の相関が認められ、さらに全身型 JIA の血清 COMP 濃度は健常児と比較して有意に低下していた。この結果から、全身型 JIA で生じた全身炎症が、成長にとって重要な役割を担う成長軟骨での軟骨代謝に影響を及ぼしていることが考えられる。したがって血清 COMP 濃度は全身型 JIA における成長障害を示す指標になりうることが判明した。これは重要な知見を得たものとして価値のある業績と認める。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。